

2022年4月30日配布

第301回山口西田読書会（=2022年4月16日開催分）の Protokol

佐野之人記

1. テキスト：「場所」「三」の第4段落245頁14行目から246頁10行目まで。

今回より Protokol の形式を改めようと思います。

「キーワード」ないし「キーセンテンス」を取り出し、それについての考察ないし問いを200字程度で要約してください。質疑応答を含めて30分以内とし、本文講読の時間を確保したいと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

2. キーワードないしキーセンテンスと考察ないし問い

「純粹性質」（246,6-7）

作用も潜在も消え失せ、（真の無の場所に於て）有るものは「唯純粹性質」というべきものとされる。そうして物の背後に性質がある、とされる。しかし少し前で「絶対の無の）場所が之に於て有するもの（個々独立的存在）を絶対的に越えて居る」（243,13-14）とされていた。前者では「於てあるもの」は性質（内在）であり、後者では物（超越）である。この関係をどう考えるか。（171字）